

RISING SUN

ライジング・サン
マイクル・クライトン 酒井昭伸 訳



MICHAEL CRICHTON

ING SUN MICHAEL CRICHTON

ライジング・サン
マイクル・クライトン 酒井昭伸 訳



Hayakawa Novels

RISING SUN

by Michael Crichton

Copyright © 1992, 1992

by Michael Crichton

First published 1992 in Japan

by Hayakawa Publishing, Inc.

This book is published in Japan

by arrangement with

Janklow & Nesbit Associates

through Japan Uni Agency, Inc., Tokyo.

検 印
廃 止

ライジング・サン

1992年 6 月20日 初版印刷

1992年 6 月30日 初版発行

著 者 マイクル・クライトン

訳 者 ^{さか}酒 ^い井 ^{あき}昭 ^{のぶ}伸

発行者 早 川 浩

発行所 株式会社 早川書房

東京都千代田区神田多町2-2

電話 東京(3252)3111(大代表)

振替 東京・6-47799

印刷所 三松堂印刷株式会社

製本所 大口製本印刷株式会社

定価はカバーに表示してあります

ISBN4-15-207751-4 C0097

Printed and bound in Japan

ライジング・サン

日本語版翻訳権独占
早川書房

© 1992 Hayakawa Publishing, Inc.

母
ズーラ・ミラー・ク
ライトン
へ

われわれは古い法則がもはや通用しない世界にはいつつつある。——フィリップ・サンダーズ

ビジネスは戦争だ。——日本の格言

登場人物

ピーター・ジェイムズ・スミス……………ロサンジェルス市警警部補

ジョン・コナー……………同警部

トム・グレアム }
フレッド・ホフマン }……………同刑事

ジム・オルスン……………同副本部長

エレン・ファーリー……………ロス市長報道担当官

イングロ……………ナカモト・コーポレーション社員

タナカ……………ナカモト・セキュリティ社員

ジェローム・フィリップス }
テッド・コール }……………ナカモト・タワー警備員

シェリル・リン・オースティン……………モデル

ジュリア・ヤング……………シェリルの友人

エディ・サカムラ……………レストラン〈ボラボラ〉共同経営者

ケニー・シュビック }
ウィリー・ウィルヘルム }……………ロサンジェルス・タイムズの記者

フィリップ・サンダーズ……………南カリフォルニア大学教授

テレサ・アサクマ……………同大学院生

スティーヴン・ロウ }
ジョン・モートン }……………上院議員

ロバート・ウッドスン……………モートンの秘書

ローレン……………ピーターの前妻

ミッシェル……………ピーターの娘

エレイン……………スミス家の家政婦

ロサンゼルス市警察 内務監査極秘調書

内容…査問ビデオ

ピーター・J・スミス刑事

三月十三日～十五日

参考資料…“ナカモト殺人事件”(A88951404)

本調書はロサンゼルス市警察に帰属し、禁帯出とする。本文書のコピー、引用、その他の手段による複製、および内容の公開の許可は、法により限定される。許可なき閲覧は厳罰に処す。

許可申請は左記へ…

ロサンゼルス、CA9203812029

私書箱2029

ロサンゼルス市警察 内務監査課課長

電話…(213) 555-7600 / FAX…(213) 555-7812

査問ビデオ…P・J・スミス刑事

三月十三日～十五日

標題…ナカモト殺人事件

監査概要…監査対象者（スミス警部補）は、三月十三日（月）から十五日（水）にかけ、都合二十二時間の取調べを受けた。取調べ状況はS・VHS／SDビデオテープに記録されている。

記録状況…監査対象者（スミス警部補）は、ロサンジェルス市警察本部のビデオ記録四号室のデスクにすわっている。監査対象者のうしろの壁には時計が見える。画面の前面に映っているのは、デスク、コーヒーマップ、監査対象者の上半身。監査対象者の服装は、上着とネクタイ（一日め）、ワイシャツとネクタイ（二日め）、ワイシャツのみ（三日め）。撮影時刻は右下隅に表示。

監査目的…“ナカモト殺人事件”（A88951404）における監査対象者の役割確認。監査担当官は、T・コンウェイ刑事およびP・ハモンド刑事。監査対象者は弁護士立会いの権利を放棄している。事件の結着…“迷宮入り”にファイル。

三月十三日の調書（1）

監査官…さて。ビデオは動いている。まず、記録のために、氏名をお願いしよう。

対象者…ピーター・ジェイムズ・スミス。

監査官…年齢と階級を。

対象者…年齢三十四歳。警部補。ロサンジェルス市警察特別業務部に所属していました。

監査官…スミス警部補。知ってのとおり、きみは現在、犯罪容疑で告発されているわけではない。

対象者…はい。

監査官…しかしながら、きみには弁護士の立会いをもとめる権利がある。

対象者…その権利は放棄しました。

監査官…よろしい。この監査を受けるうえで、なんらかの形で、圧力をかけられたことは？

対象者…（長い間）。いえ。いかなる形でも、そういう事実はありません。

監査官…なるほど。それでは、ナカモト殺人事件の話にはいろいろ。最初にこの事件に関わったのは？

対象者…二月九日木曜日、午後九時ごろです。

監査官…その時刻に、なにが起こったのかね？

対象者…自宅にいと、電話がかかってきたんです。

監査官…そのとき、きみがしていたことは？

第一夜



そのときわたしは、カルヴァーシティのアパートのベッドにすわり、テレビの音声を消してプロバスケットボールの試合を見ながら、初級日本語のおさらいをしていた。

静かな夜だった。娘は八時ごろ寝かしつけてある。ベッドに持ちこんだカセットからは、快活な女性の声がつぎつぎに例題を投げかけてきていた。

「わたしは警官です。なにかおこまりですか？」
「ヘメニューを見せてください」

それぞれの例題のあと、声は間を置き、わたしが日本語で同じ内容をくりかえすのを待つ。わたしはどもりながらも、懸命に日本語を口にする。すると声がまた、

「青果店は閉まっています。郵便局はどこですか？」

そのくりかえしだ。ときどき、集中するのがむずかしくなることもあるが、それでもわたしは黙々と勉強をつづけた。

「ヘミスター・ハヤシには子供がふたりいます」

「林サンハ子供が、フ……フタ……」

なんとか日本語にしようとしたが、うまくいかず、わたしは毒づいた。そのときにはもう、つぎの問題が読みあげられている。

「この飲み物は、あまりおいしくありません」

ベッドの上には、開いたままの日本語テキストといっしょに、娘のミッシェルにたのまれて直したミスター・ポテトヘッドがごろがっている。そのとなりには写真アルバムと、娘の二歳の誕生日パーティーで撮った写真の束。あの日からもう四カ月がたつというのに、写真は未整理のままだ。日ごろからこまめに整理する習慣を身につけておかないと、この手のものはどんどんたまってしまう。

「二時にミーティングがあります」

ベッドの上の写真は、もはや現実を反映してはいない。四カ月たっただけなのに、ミッシェルは見ちがえるほど大きくなっている。背も高くなり、別れた妻が買ってきた高価なパーティー・ドレスももう着られない。黒のビロードに白いレースの襟がついた、かわいらしい服だったのだが。

写真で見るとかぎり、別れた妻はいかにも母親然としている。ロウソクを吹き消すミッシェルのためにケーキをかかげ、プレゼントの包み紙をはがすのを手伝ってやっているさまは、どう見ても献身的な母親の図だ。だが、じっさいに娘を養育しているのはこのわたしであり、妻は週末の訪問にも二度に一度は姿を見せない。養育費の振りこみも滞りがちだ。

しかしそんなことは、この誕生日の写真からは読みとりようもない。

「ヘトイレはどこですか？」

「へわたしは車を持っています。いっしょにいきましよう」

わたしは勉強をつづけた。もちろん、公式には、いまは勤務時間だ。特別業務部の所属なので、必要が生じたら、市警本部にあるセントラル署から連絡がはいることになっている。だが、二月九日木曜日の夜はあまりに静かだったので、今夜は出番はなさそうだなと思っていた。九時までにかかってきた電話も、たったの三件だけだった。

特別業務部には、市警の外交官・外国人担当セクションがふくまれる。外交官や外国要人がらみの事